

地域にはばたく市民パワー！

**ところざわ倶楽部「広場」**

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2011年 特別号(号外)

発行責任者 加曾利 厚雄

**《ところざわ倶楽部ウィーク》開催！****「いきものふれあいの里センター」で****行事日程**

- 9月25日(日) 講演会「地域の農業が担う里山の保全」
- 9月26日(月) (休館)
- 9月27日(火) 第1回歴史探訪ウォーク・ラリー
- 9月28日(水) 竹炭焼き体験
- 9月29日(木)
- 9月30日(金) 第2回歴史探訪ウォーク・ラリー
- 10月1日(土) 講演会「狭山丘陵の野鳥について」
- 10月2日(日) 探鳥会・オカリナで小鳥の鳴き声に挑戦

↑サークル活動展示↓

(行事の詳細は本文をご参照ください。)

**《ところざわ倶楽部ウィーク》開催に向けて****副会長(総務部長) 海老沢愛之助**

ところざわ倶楽部では、昨年に引き続き今年も、市内荒幡にある県の施設「いきものふれあいの里センター」で9月25日から10月2日までの間、(財)トトロのふるさと基金との協賛事業を行うことになった。

昨年は、「生物多様性国際会議COP10」にちなみ、地域の自然系4サークルと歴史散策系3サークルによる展示発表、トトロのふるさと基金に係わっている先生方による講演会、東村山駅から八国山周辺の史跡を見学しながらセンターに至る散策会、オカリナの指導等で協賛参加をした。

「いきものふれあいの里センター」は、狭山丘陵を中心とした豊かな自然を保護し、多くの市民に自然と親しむことの楽しさを知ってもらうことを大きな目的としているが、その活動が地味なため、市民による施設の利用は伸び悩んでいる。このため、現在センターの管理運営を埼玉県から委託されている(財)トトロのふるさと基金は、多くの市民の皆さんに施設を活用して頂くためにはセンターの認知度を高める必要があるとして、ところざわ倶楽部に協力を要請してきたものである。

ところざわ倶楽部としては、倶楽部の活動の大きな目的である地域貢献に合うことになることから「地域の自然・歴史に関心を持ってもらうきっかけ作り」をテーマに協賛することとした。

今年の協賛事業は、ところざわ倶楽部所属サークルの活動展示、ウォーク・ラリー、探鳥会、講演会、オカリナ指導、そして本センターを拠点として活動している「いきものふれあいの里炭焼の会」の例会日に参加し、竹炭焼の体験をさせて頂くことなどである。

今後とも、「いきものふれあいの里センター」とところざわ倶楽部との結びつきを緊密にし、本センターの社会的な認知度を高め、狭山丘陵の存在感、価値そして水や緑の大切さ、その潤いのある景観の心を豊かにする働き等を発信して行くことができれば地域貢献の一助を担うこととなり、素晴らしいことではないかと思う。

さらに、この施設の活動を近郊の方々にも知って頂き、所沢市の活性化を図る拠点の一つにすることができれば幸いである。 会員各位の積極的な参加をお願いしたい。

## 講演会 「地域の農業が担う里山の保全」

体験的里山維持管理論

講師：町田歴環管理組合理事長 田極公市氏

日時：9月25日(日) 14時～16時

場所：いきものふれあいに里センター

町田歴環管理組合の理事長である田極公市さんは、町田市小野路で花卉の栽培をする農家です。

田極さんの自宅の目の前の森は多摩丘陵の一角を占め、東京都が「国師小野路歴史環境保全地域」として1978年に指定した緑地になっています。田極さんは、管理組合を作って、約33haのこの公有地の管理を都から請負い、地域に伝わる伝統的な管理手法によって、里山の生物多様性の確保、美しい里山の保全を実現しています。

田極さんが取り組んできた活動のこれまでの経緯と課題、今後の展望などについては、狭山丘陵の里山の保全と共通するものがありますので、たいへん参考になると思われます。特に、地域の農業者が里山保全に果たす役割の大きさには、あらためて着眼する必要がある

あると感じます。

田極さんの話の前座として、都の条例の内容や規制の

実態などについて、元都庁職員であった公益財団法人トトロのふるさと基金事務局長萩野さんが補足的な説明を加えます。この保全地域が指定された頃の時代背景を知るとともに、行政による里山管理の可能性と限界を考える手がかりとなるでしょう。

(いきものふれあいの里センター 須賀 聡)



町田歴環管理組合管理の谷戸の景観

## 炭焼きを体験してみませんか

エコな竹炭焼きに挑戦してみよう！

地域の自然を考える会 海老沢愛之助

日時：9月28日(水) 9時～14時頃

場所：いきものふれあいの里センター

服装：汚れてもいい服装

持参品：軍手、タオル、弁当、飲料

参加申込：9月19日までに、海老沢まで

電話2922-0259

所沢でもいくつかのグループが炭焼の会を催していることを仄聞しているが、今回の「ところざわ倶楽部ウイーク」では、いきものふれあいの里センターを拠点としているグループ「いきものふれあいの里炭焼の会」にお願いし、竹炭焼の体験をさせて頂くことになった。多くの方の参加を期待したい。

俳句を愛好している私は、自然及びその移ろいの観察、そして自然と人間の関わりあいに関心があるため、大いに参考となる体験ができる機会と思い参加しようと思っているが、この体験を通じて学ぶ、竹炭や竹炭

製造の過程で出る竹酢液の持つ土壌改良、殺菌作用、消臭作用などに関する知識は、家庭菜園なども含めて農業などに関心を持っている人にも、農業に代わる殺菌剤としての竹酢液の使用などを考えるうえで、大いに役立つのではないかと思う。

今回は、竹炭や竹酢液の具体的な使用要領までは体験できないと思うが、自然系のほかの団体とも係わりを持つことができ有意義な体験になることが期待できると思う。



いきものふれあいの里センターの炭焼き施設

## 歴史探索ラリー

4～5人のグループで「歩く・見る・話す」を通して、地域の歴史を再発見するウォークです。

- 1 テーマ：「吾妻地区の自然と柳瀬川周辺の歴史を探る」
- 2 参加者：ところざわ倶楽部会員
- 3 期日及びコース（各コースとも、標準時間は、課題の解答及び食事時間を含め、3時間30分～4時間）

期 日	コース	集合場所・時間
9月27日(火) 予備:10月1日(土)	柳瀬川コース (西所沢駅～いきものふれあいの里)	西所沢駅前 9時30分
9月30日(金) 予備:10月2日(日)	自然コース (所沢駅東口～いきものふれあいの里)	所沢駅東口 9時30分

#### 4 実施要領

- (1) コマ地図片手にチェックポイントの課題に答えながら歩きます。
- (2) コマ地図の配布及び細部説明は、集合時に行いますので、時間厳守のうえお集まりください。
- (3) グループ編成は4名を基準とします。(同じサークルのメンバーと一緒にグループ編成したい場合は、2～3名までを可としますので、申し込み時にその旨を伝えて下さい。)
- (4) 課題の得点、ゴールまでの所要時間からなる得点(予め決められた標準時間との差が少ないほど高得点)の合計で順位を決めます。
- (5) スタッフの注意を厳守し、交通安全等、安全管理は各自の責任で行い、事故のないよう行動してください。

#### 5 その他

- ① 開催日毎に、1～3位までのグループには賞品を差し上げます。
- ② 傷害保険は、ところざわ倶楽部で団体加入します。
- ③ 雨天などで延期する場合のみ、前日の19時頃、サークル代表を通じて連絡します。
- ④ 当日の気候に応じ、ウォーキングに適した服装でお集まりください。
- ⑤ 弁当、飲み物、敷物、雨具等を各自用意して下さい。



主催 歴史散策クラブ

野老澤の歴史をたのしむ会

協賛 ところざわ倶楽部

お問い合わせ:(事務局・大河原)

電話&Fax 2943-2004

携帯 090-4421-7545

メール ohkawara7@jcom.home.ne.jp

#### ■ 参加の申し込み

- ① 参加申し込みは、サークル単位で行います。サークル代表は会員の申込み受けをお願いいたします。複数サークル加入者は、1個の主たる活動サークルで申し込み、重複のないようお願いいたします。
- ② 各サークル代表は取りまとめた参加会員の希望を、別添の別紙様式「歴史探索ラリー参加者集約表」に記入の上、各サークルの理事を通じ、理事会の席で歴史散策クラブ代表・高木理事に提出して下さい。理事会に参加できないサークルは、同申込用紙をFax又はメールで事務局に提出して下さい。
- ③ サークルに所属していない会員は、電話又はFax、メールにより、直接事務局へ申し込んで下さい。
- ④ 申し込みの締め切りは、9月12日(月)とします。
- ⑤ 申し込み後、内容に変更が生じた場合、サークル代表を通じて事務局にお知らせ下さい。



**講演会「狭山丘陵の野鳥について」**

講師:対馬 良一氏

(トトロのふるさと基金常務理事)

日時:10月1日(土) 午前10時~

場所:いきものふれあいの里センター

狭山丘陵は、狭山湖や多摩湖を中心に「緑の浮島」のように残された首都圏を代表する重要な自然環境です。この緑の浮島を多くの野鳥が、渡りや繁殖のために利用しています。自然生態系の根幹をなす野鳥の状況を知悉することによって、丘陵が現在置かれている状況を知ることが出来ます。野鳥の視点にたった狭山丘陵をご紹介します。

また、狭山丘陵いきものふれあいの里センターに展示してある野鳥の剥製を使用し、鳴き声や身体の特長などの解説を行い、普段から野鳥を身近に感じられるポイントを紹介します。

(いきものふれあいの里センター 須賀 聡)

<対馬良一氏>

埼玉県立高校の生物の教師のかたわら、狭山丘陵の自然保護の活動に力を注ぎ、2010年度「埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター」総括責任者に就任。2011年度より「公益財団法人トトロのふるさと基金」常務理事。

**探鳥会に参加しませんか**

地域の自然を考える会 海老沢愛之助

日時 : 10月2日(日) 9時~

集合場所 : いきものふれあいの里センター

所持品 : 持っている人は双眼鏡を

狭山丘陵周辺の鳥類相は、平成10年および平成16年の埼玉県調査によれば埼玉県レッドデータブックの絶滅危惧種であるサンコウチョウ、センダイムシクイなどを始めとして60種ほどが生息していると思われる。

今回の探鳥会では、14期の堀井達夫先生に先達をお願いしてセンター周辺を歩く探鳥会を企画した。

先生は現在、トトロ基金理事、砂川ネットワーク副代表

としてお忙しく活躍されている。

皆様もご承知のように、鳥を観察するにはなるべく朝早い時間から出かけた方が良く、「いきものふれあいの里センター」9時集合で初心者にも参加しやすいようセンターから望遠鏡も借りられるように企画した。

10月1日に行われる狭山丘陵の鳥を取り上げた対馬先生の講演会とあわせてご参加頂けると探鳥会の楽しさも一入となるのではないかと期待が膨らむ。

当日の鳥次第であるが、どんな思いがけない経験に遭遇するのかを楽しみにご参加頂きたい。

**オカリナで小鳥の鳴き声に挑戦!**

オカリナ同好会(代表:岡本詔一郎氏)探鳥会(堀井達夫先生案内)終了後、センターにてオカリナ体験会を開催。オカリナでドレミの練習、小鳥の鳴き声に挑戦し、最後に簡単な曲の練習をします。 ~オカリナ20個用意~

●日時:10月2日(日) 午後2時~

●対象:ところざわ倶楽部会員・一般

●実施事項:

① オカリナ体験 ドレミの吹き方、及び簡単な曲の練習。

② 鳥の鳴き声をオカリナで真似て吹いてみる。

●オカリナ指導: 岡本詔一郎氏及びオカリナ同好会会員

●皆さま、積極的にご参加ください。

問い合わせ(岡本 ☎04-2948-7674)



**サークル活動展示**

期間中、センター入りロビーにおいて、ところざわ倶楽部所属サークルの活動状況及びその成果についての展示を行います。多数の皆さんのご観覧をお願いいたします。

なお、展示を希望するサークルは、各サークルの理事を通じて、9月12日(月)までに事業部長までお申し出下さい。その際、掲示に必要とするおおよその面積(例:A3版サイズ4枚)をお知らせ下さい。

